

**製品名: ERG ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86793**

研究使用のみ

**概要**

|        |  |
|--------|--|
| 説明     | 組換えウサギモノクローナル抗体  |
| 宿主     | うさぎ  |
| 応用     | WB,IHC,ICC/IF,FC,IP  |
| 反応性    | ヒト、マウス   |
| 標識     | 非共役  |
| 修飾     | 未修正  |
| アイソタイプ | IgG  |
| クローン性  | モノクローナル  |
| 形態     | 液体   |
| 濃度     | -  |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。   |
| 輸送     | 氷袋   |
| バッファー  | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製     | アフィニティー精製  |

**応用**

|      |   |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50 |
| 分子量  | Calculated MW:55 kDa; Observed MW:55 kDa                                      |

**抗原情報**

|              |                |
|--------------|----------------|
| 遺伝子名         | ERG            |
| 別名           | p55; erg-3     |
| 遺伝子 ID       | 2078           |
| SwissProt ID | P11308         |
| 免疫原          | ヒト ERG の合成ペプチド |

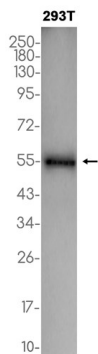
**背景**

この遺伝子は、赤芽球形質転換特異的（ETS）転写因子ファミリーのメンバーをコードします。このファミリーのメンバーはすべて、

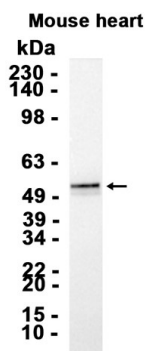
胚発生、細胞増殖、分化、血管新生、炎症、およびアポトーシスの重要な制御因子です。この遺伝子によってコードされるタンパク質は主に核内で発現します。ETS DNA 結合ドメインと、キメラがんタンパク質の自己会合に関与する PNT (尖端) ドメインを含みます。このタンパク質は、血小板の内皮下層への接着に必須であり、血管細胞のリモデリングを誘導します。また、造血、巨核球細胞の分化および成熟も制御します。この遺伝子は染色体転座に関与しており、前立腺がんにおける TMPSSR2-ERG および NDRG1-ERG、ユーイング肉腫における EWS-ERG、急性骨髄性白血病における FUS-ERG など、様々な融合遺伝子産物を生み出します。3つの選択的プロモーターと複数の選択的スプライシングの組み合わせから生じる 20以上の転写バリエーションが報告されていますが、これらのバリエーションの多くは全長が未解明です。[RefSeq 提供、2014年4月]

## 研究分野

## 画像データ



ERG ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した 293T 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86793 を 1:1000 で使用してマウス心臓組織抽出物をウェスタンブロット分析しました。